

革新的なエネルギー高度利用技術

新エネルギーとされていないが、再生可能エネルギーの普及、エネルギー効率の飛躍的向上、エネルギー源の多様化に資する新規技術であって、その普及を図ることが特に必要なもので、「天然ガスコージェネレーション」「燃料電池」「クリーンエネルギー自動車」などがあります。

天然ガスコージェネレーション

天然ガスで発電する際に発生する熱を、温水や蒸気で利用するシステムで、電気と熱の両方が利用できるシステムです。

- メリット 1 高効率**
電気と熱の両方が利用できるため、利用効率は70～90%と高くなっています。
- メリット 2 自家発電設備として**
電気や熱を多く利用するホテルなどの施設に適した電源で、停電時などの自家発電設備としても活用できます。
- メリット 3 送電ロスがない**
エネルギーを使う場所で発電し熱を供給するため、送電ロスがありません。



(医)大雄会 総合大雄会病院(愛知県一宮市)

燃料電池

燃料電池とは、酸素と水素を化学的に反応させ直接電気を発生させる発電装置のことで、さまざまな分野で利用されています。

- メリット 1 クリーンエネルギー**
燃料となるのは酸素と水素。しかも化学反応させるだけなので、発電時には水しか発生しません。
- メリット 2 熱も同時利用できる**
燃料電池は発電する際に熱も発生させるため、電気と熱の両方を同時に利用できます。
- メリット 3 家庭への導入が容易**
水素は都市ガスや灯油などからつくることができ、一般家庭への導入が期待できます。



家庭用燃料電池
「ENE・FARM(エネファーム)」は、家庭用燃料電池の普及を促進するためにつけられた、家庭用燃料電池の統一名称です。

クリーンエネルギー自動車

クリーンエネルギー自動車は、ガソリンに比べてCO₂排出量の少ないエネルギーを利用している自動車のことです。

- 1 電気自動車**
電気でモーターを動かすので、排気ガスを出しません。
- 2 ハイブリッド自動車**
モーターとエンジンを組み合わせて効率良く走るので、燃費が良く、排気ガスが減少します。
- 3 天然ガス自動車**
二酸化炭素や硫黄酸化物などが少ない天然ガスを燃料にするので、排気ガス中の有害物質が減ります。



電気自動車

わかる
新エネ

グリーンエネルギーって知ってる？

グリーン電力とは？



太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、中小規模水力発電、そして地熱発電などによる電力は「グリーン電力」と呼ばれ、環境にやさしいエネルギーとして、いま、その普及が期待されています。その普及のしくみとして「グリーン電力証書」があります。みずから太陽光発電などを導入するのとは別の方法で、電力を消費する行動を通じてグリーンエネルギーの普及に貢献できるものです。

グリーン熱とは？



太陽熱、バイオマス熱、雪氷熱等によるエネルギーは「グリーン熱」と呼ばれ、2009年4月から「グリーン熱証書」も開始されています。

グリーン・エネルギー・パートナーシップ

「グリーン・エネルギー・パートナーシップ」は、グリーンエネルギーの普及拡大に賛同する企業や団体、証書発行事業者、発電事業者、自治体、個人などの集まりです。皆でパートナーシップを築いてグリーンエネルギーの利用をさらに広げていきます。

●主な活動内容
グリーンエネルギーに関する広報事業／普及拡大に貢献した事業者の表彰／統一的行動(ロゴマーク、キャッチフレーズの普及)ほか

<http://www.green-energynet.jp/>



つくること
つかうこと
えらぶこと

**Green Energy
Partnership**